

5/31

有機農業の産地づくりに向けてキックオフ！

農林水産省では、「みどりの食料システム戦略」に基づき、「オーガニックビレッジ」の創出に取り組む市町村の支援に取り組んでいます。「オーガニックビレッジ」とは、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める市町村のことをいいます。この度日南町は、鳥取県内の自治体で初めてオーガニックビレッジの事業採択を受け、3年間にわたるモデル事業をスタートさせます。

その皮切りとして、プロジェクトの発足式と有機農業推進に関する研修会が役場交流ホールで行われました。発足式には町内外の農業者や企業などから13人が出席し、意見交換を行いました。その後行われた研修会では、これまでに「オーガニックビレッジ宣言」をした島根県浜江市の成功事例が紹介され、出席者は「今度は実際に現地が見てみたい」と話すなど、有機農業の産地づくりに向けた機運が高まりました。



5/25

大きくなってね！こども園鮎放流体験



霞のかすみ広場下の日野川にて、こども園の年長児が鮎の放流体験を行いました。この活動は、園児たちが自然にふれあうことと生き物に興味を持ってもらうために企画されたものです。この日は日野川水系漁業協同組合が育てた稚鮎約300匹がこども園に提供されました。

園児たちは同漁協の監視員である平井博之さん（生山）から鮎の生態について説明を聞いた後、バケツに入れた鮎を少しずつ川に放流しました。最初は「こわい！」と言っていた園児たちも、何度か放流するうちに楽しくなったようで、「大きくなってね」と声を掛けながら泳いでいく鮎を見送っていました。



6/2 ~ 6/18

にちなん文化展で日野郡文化交流

日南町文化協会（藤原寿郎会長）が主催する「にちなん文化展」が日南町美術館で開催されました。この展覧会は今年で10回目を迎え、これを記念して日野町文化団体連絡協議会と江府町文化協会から出展された作品を展示した「日野郡文化交流」が行われました。

初日の6月2日にはオープニングセレモニーが開催され、日野郡3町の文化協会・文化団体連絡協議会の会長らが出席し、テープカットが行われました。展覧会には日野郡3町から集められた俳句や書、絵手紙、写真など66点が展示され、来場者は普段見ることが少ない他町の作品にもじっくりと見入っていました。



6/2

消防団長に中嶋さん 副団長に柳生さんが就任

日南町消防団では、5月31日付で木山宗司団長（茶屋）が退任し、新たに中嶋研一さん（生山）が消防団長に、柳生肇さん（上石見）が副団長に就任しました。

この日行われた辞令交付式で中嶋団長は、「新しい団長・副団長の体制となるが、これまで以上に消防団を盛り上げていき、町に貢献していきたい」と話しました。

任期は、令和5年6月1日から令和9年3月31日までです。



5/12

日南病院 看護フェア



高齢社会を支えていくためには、「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」を私たち一人ひとりが分かち合うことが必要です。そんな心を誰もが育むきっかけとなるよう、国は平成2年に5月12日を「看護の日」と制定しました。これは、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されたものです。

日南病院では、この「看護の日」に合わせて「看護フェア」が行われました。看護師たちは来院した人たちを病院玄関で出迎え、一人ひとりに声を掛けながらパンフレットや景品を配布しました。

5/14

新教育委員に米積さん

5月13日に任期満了となった日南町教育委員会委員の中村秀代さん（三吉）に代わり、新たに米積真紀さん（下石見）が委員に任命されました。米積さんは就任にあたり、「教育委員として、できる限り日南町の教育に尽力したい」と抱負を話しました。

任期は、令和5年5月14日から令和9年5月13日までです。



5/20

日野川流域の自然環境を守るため 森林整備体験&自然観察会

日野川の源流と流域を守る会が主催する森林整備体験と自然観察会が町内で行われ、会員など11人が参加しました。

午前中は神福地内の山林で森林整備体験を行い、間伐作業の一部を体験しました。森林は、治山・治水機能や動植物の生息環境、空気の浄化など、重要な機能を果たしています。参加者は講師で同会幹事の榎木建明さん（神福）の説明を受けながら、森林保全の必要性



を学びました。午後は自然観察会として日野川流域の水が育む自然環境に優れた木谷川を探訪し、植物や野鳥を観察しました。



5/11

春の全国交通安全運動

5月11日から5月20日にかけて行われた「春の全国交通安全運動」の初日、日南町でも出発式とパセオ前での街頭啓発活動が行われました。今年度の重点項目は、①こどもを始めとする歩行者の安全の確保、②横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上、③自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底の3項目でした。

黒坂警察署の渡邊章署長は出発式の中で、「これから人の移動が活発になり、事故が増える可能性がある。交通ルール遵守などの広報活動をお願いしたい」と話し、参加した交通指導員や黒坂警察署員、町職員などに呼びかけました。



5/13・15

白谷工房 県知事から功労者表彰

寄木細工のアクセサリや小物を製作している白谷工房が、「令和5年度鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰」を受賞しました。これは、林産物の生産や緑化の推進、森林保全の実践・普及等について特に功績のあった者に対し鳥取県知事が表彰するものです。

白谷工房は、寄木のSDGsバッジやサクラクレパスとのコラボ商品、町内の新生児に贈られる木育玩具の積み木など、自治体や民間企業等と連携した商品も数多く生み出しています。近年では修学旅行の受け入れやワークショップの開催などを通じ、森林の多様な利活用や木の良さをPRするとともに、伝統技術の継承にも努めています。

白谷工房の代表・中村建治さん（福塚）は、5月13日に開催された鳥取県植樹祭にて平井知事から表彰され、15日には受賞の報告のため中村町長を訪問しました。

